

共創会議における取組内容について

関西電力株式会社

2024/7/26

1. 水素関連の取組み

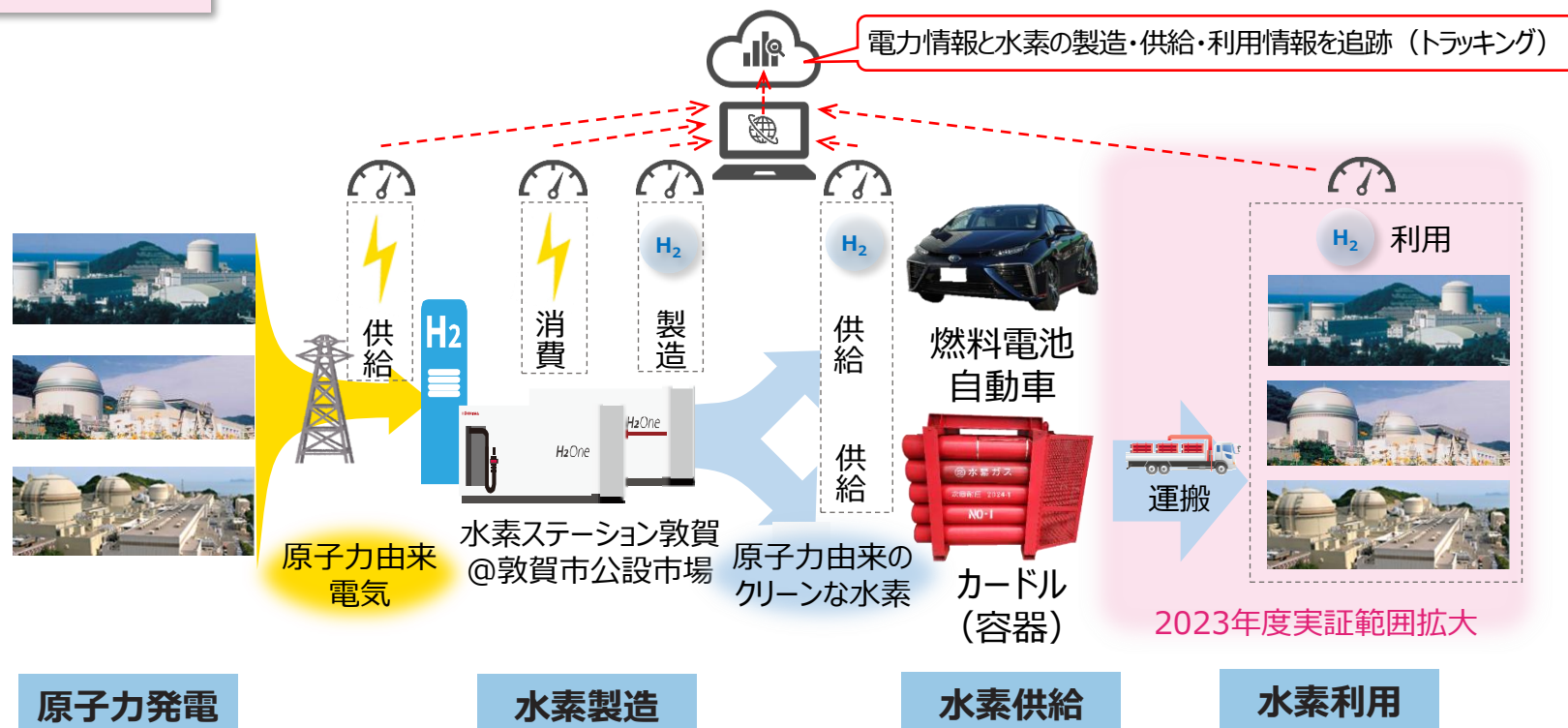
2. ビジネスマッチングの取組み

1. 水素関連の取組み

2. ビジネスマッチングの取組み

- 2023年度は、原子力発電由来の嶺南産CO2フリー水素を、弊社の各発電所にて利用（2022年度の内容から取組みの範囲を拡大）
- 原子力由来の水素を原子力発電所で利用することは国内初の取組み
- 嶺南がゼロカーボンの先進地であるとの訴求に貢献

実証イメージ



実証内容

- 原子力由来の水素を原子力発電所で利用し、製造から利用に至るまでの一連の流れを追跡（トラッキング）した。

実証期間

- 2023年10月11日(水)～2024年4月24日(水)

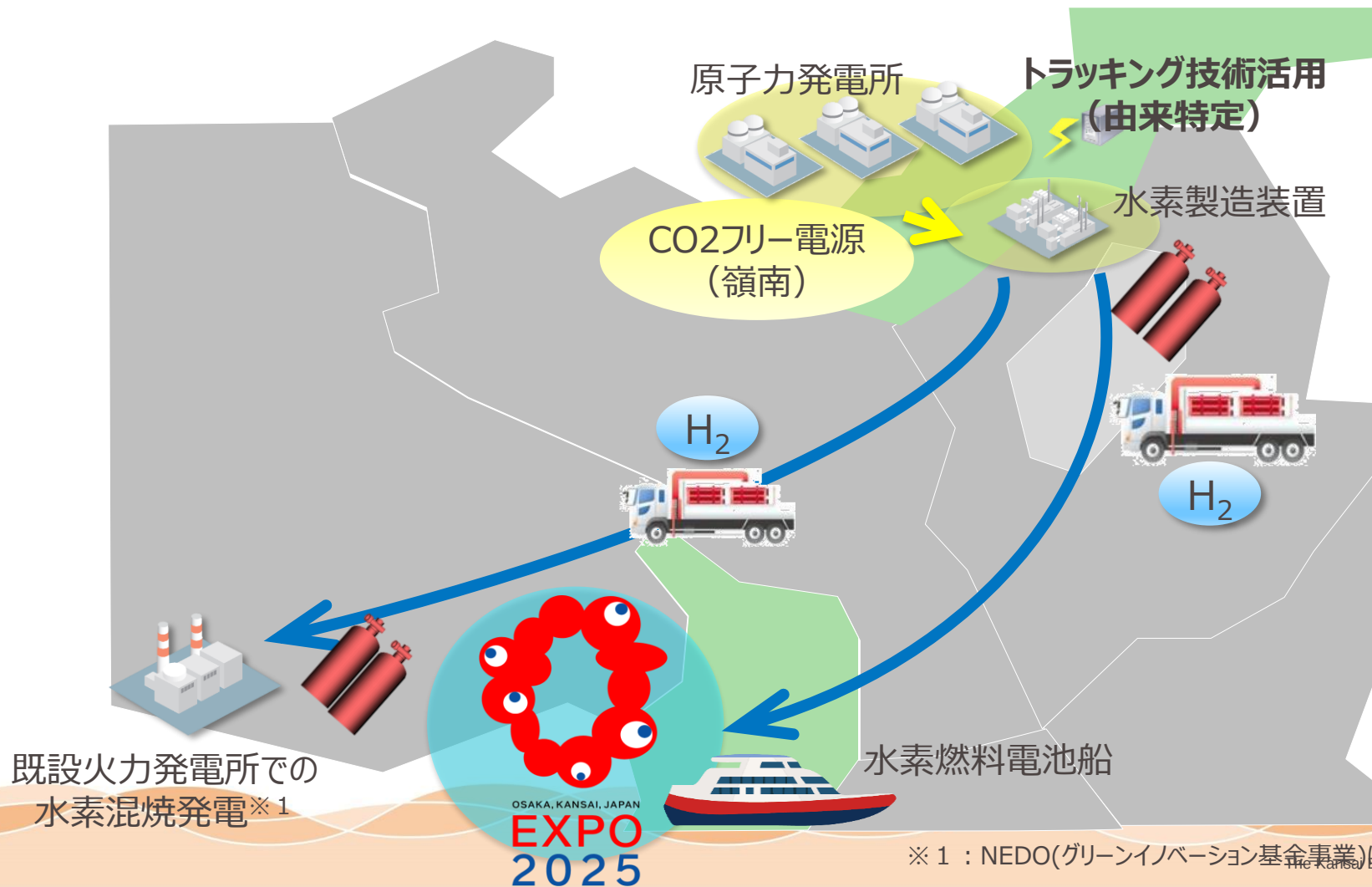
実証結果

- 実証期間（197日間）における実績

-  原子力由来電力の消費量：約27,700kWh   燃料電池自動車約33台分に
充填する水素の量に相当
-  原子力由来水素の製造量：約1,570Nm³ ≒ 約140kg
-  本取組みによるCO₂削減量：約9.7ton   約693本の杉の木が1年間に
吸収するCO₂の量に相当
-  発電所での利用量：約990Nm³ ≒ 約88kg
-  FCVへの利用量他：約580Nm³ ≒ 約52kg

➤ 原子力発電由来の嶺南産CO2フリー水素を

- ✓ 万博会場で運航が予定されている水素燃料電池船の燃料に供給
- ✓ また、姫路第二火力発電所での水素混焼発電実証の燃料に供給



※1：NEDO(グリーンイノベーション基金事業)にて検討中

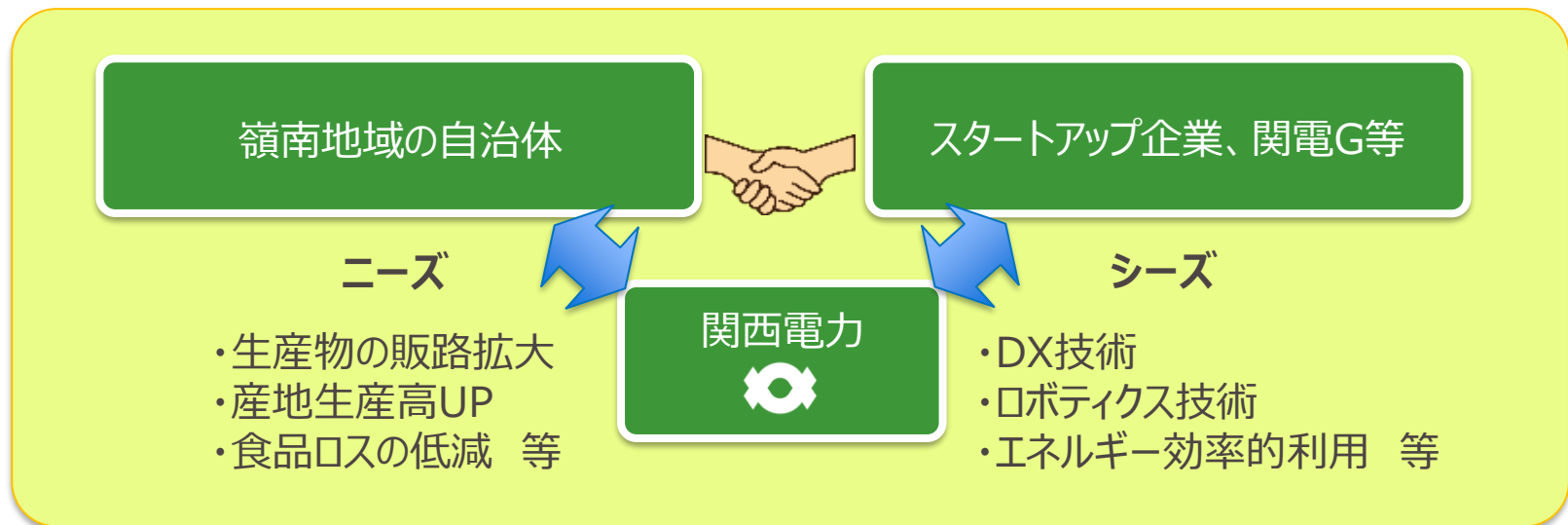
1. 水素関連の取組み

2. ビジネスマッチングの取組み

- 農・水・食分野におけるビジネスマッチングについては、ご関係者の皆さまの多大なるご協力の下、連携して取組みを推進

【取組み内容のコンセプト*1】

農・水・食の分野において、嶺南市町の皆さまのニーズと、こうした分野に長けた先進スタートアップ企業等の持つシーズを、当社が橋渡し役となってマッチングし、地域の新しいビジネスの創出につなげる取組みを進める。



*1：「第3回 福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」関西電力説明資料
(https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/fukui_kyosokaigi/003.html)

2. ビジネスマッチングの取組み（農・水・食分野におけるビジネスマッチング）

9

➤ 各分野の地域ニーズに対して、スタートアップ企業と共同し、地域に根付くビジネス創出に向けた取組みを展開

ヒアリング等を通じて確認した
地域ニーズ（課題テーマ）

課題テーマに知見を有する
スタートアップ企業

具体的な取組み

● 養殖業の強化に向けたブ ランド魚の開発

地魚復活による水産事業の立ち上げ



リージョナル
フィッシュ
株式会社



強み：品種改良技術、スマート養殖技術

- **ゲノム技術等**を活用した**品種改良**研究
マサバ：高温環境飼育
アカウニ：高密度環境飼育
- 県立大と連携した、**陸上と海面のハイブリッド型養殖事業の検討**

● 農業生産基盤の強化

生産技術・収益性向上

サステナブルかつ稼げる農業へ



株式会社
TOWING



強み：超良質土壌環境の生成技術
（バイオ炭に微生物を付加し、
有機質肥料と混合）

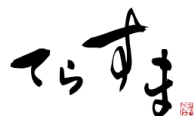
- **バイオ炭に活用できる地域資源**（地域の農水産業廃棄物）の**模索**
- **地域資源を活用**した良質な土壌環境が安定して提供できる**仕組みづくりの検討**

デジタル化・産地形成

ITの力で農業の見える化を実現



テラスマイル
株式会社



強み：データ一元化による分析、営農指導

- **農業経営クラウドサービス**を活用した栽培**データの取得**
（温度管理による青ネギの最適生育モデルの作成）
- **取得したデータ活用による、生産性向上の検討**

- 水産振興センターや県立大学等との協定を締結('23年10月)して推進
- 現地生産者さま等との対話も重ねつつ、実証に着手。今後の展開に向けた体制を整備

2022年度

2023年度

2024年度以降

2023
計画

有望なスタートアップ企業を
採択し、事前検証開始に向
けた座組み・準備を完了

実証開始し、より具体的な
現場課題に対応
地域内外事業者等との、本
格的な連携を開始

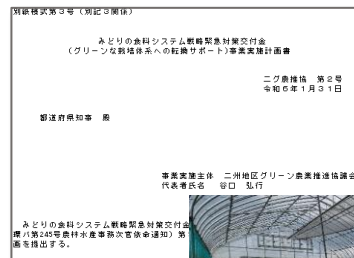
実証結果や現地の意向を
踏まえながら、地域に根付く、
持続可能なビジネスの構築、
展開



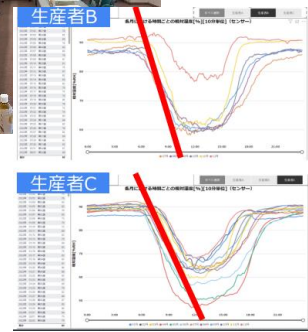
- ・5者連携協定締結
- ・マサバ・アカウニの実証を開始



- ・グリーン農業推進協議会設立
- ・現地簡易実証（効果確認）



- ・生産者とワークショップ5回実施し、
データ分析により生産課題を特定



- ビジネスマッチング・3プロジェクトの始動を契機に、新たにキダイの完全養殖に向けた研究を開始。また、地域産品商流に関する地域課題に対して取組みを実施

レンコ鯛（キダイ）

完全養殖技術開発 プロジェクト



福井県立大学
Fukui Prefectural University

概要

小鯛ささ漬けの原料であるキダイの完全養殖を目指した取組み

課題

- ・ 年間調達量の9割を県外から調達
- ・ 天然もの故、サイズが不揃いで、加工がしづらい など

これまでの 取組状況

- ・ 完全養殖技術開発に向けた協定締結
- ・ 親魚の確保



地域産品

商流構築支援 プロジェクト



既存地域産品の地域外への商流(販路)構築を支援

- ・ 少量多品種なため、マス商流に不向き
- ・ 原価設定など、地域外に販売できる商品規格になっていない など

- ・ 展示会出展
- ・ バイヤー試食会
- ・ 商談実施 など



Thank you.

